

教育振興計画重点施策
「大学連携推進事業」

聖心女子大学 フィールドワークin真室川



2月13日から16日の4日間、東京都渋谷区にある聖心女子大学現代教養学部教育学科7名のみなさんが真室川を訪れ、「雪国に生きる人と暮らし」と題したフィールドワークを行いました。

この事業は、町教育振興計画の重点施策「大学連携推進事業」の一環として行われ、保育所・小学校への訪問・交流や、伝承文化・伝承芸能の体験、スノーアクティビティなどを体験しました。

大学連携推進事業とは、近くに大学などの高等教育機関がない本町において、①子どもたちのあこがれの気持ちを育て、将来ビジョンをもつ機会とする、②学生が地域に入ること、地域が活性化される、③外部の視点から町の魅力を再発見し、地域を誇りに思う心の醸成を図る、④大学の知見を活用し地域課題の解決を図る、⑤情報発信力を向上させる、ことなどを目的としています。

①大学生生活を思い描く
真室川小学校特別授業



熱心に話を聞く真小6年生

2月14日(金)は、真室川小学校6年生のキャリア教育の特別授業に参加しました。今回の特別授業は、児童の一人ひとりの勤労観、職業観を育てるキャリア学習をテーマとして行われ、学生から大学の様子や、大学選択の理由、学生生活、将来になりたい職業などについて説明がありました。子ども達は、「やりたい勉強ができるのはおもしろそう」「サークル活動などの勉強以外の大学生生活も楽しそう」「私も大学生活のイメージを膨らませたい」と話していました。また、学生からは、

月日	活動内容
2/13(木)	真室川町教育委員会 オリエンテーション 真室川町の伝承文化体験…③ (工房ストロー 主宰 高橋伸一氏)
2/14(金)	釜淵保育所 子どもたちとの交流…④ 真室川小学校 特別授業「キャリア学習」…① あべ農園、農園見学、講話
2/15(土)	歴史民俗資料館見学 そば屋重次郎 そば打ち体験 八敷代番楽体験…②
2/16(日)	神室少年自然の家 「親子ふれあいキャンプ」参加



④釜淵保育所での交流の様子

今回の訪問先に真室川町を選んだ理由として、「真室川町の自然が素晴らしい」「雪国の文化や、ウインタースポーツを体験したい」「町の環境を活かした町民の取り組みに興味を持った」などの話もあり、子ども達は「私たちも授業で町の良さを学んでいるが、大学生の話を聞いて、やっぱり真室川町っていい所なんだと思

②伝承芸能に触れる
八敷代番楽体験・交流



学生に番楽を教える子どもたち

2月15日(土)は、八敷代番楽保存会の佐藤隆一会長宅で八敷代番楽を体験し、保存会や、番楽関係者など総勢約40名と交流しました。学生は地元の子どもから教わりながら、「もちつき」「地神舞」を体験し、最後には衣装を身に付けて子どもたちと一緒に演舞を披露。学生は、「伝承芸能を体験できて感動した」「まだ小学生なのにしっかり教えてくれた」「日頃から教え合

室川町っていい所なんだと思った」「この町ですつと暮らしていきたいと思った」と改めて町のすばらしさを実感したようでした。

2月13日(木)は、おら家を会場に工房ストロー主宰、高橋伸一氏によるわら細工を体験。高橋氏からは、この仕事をやることに至った経過や、伝承野菜の普及活動など、町に古くからある資源を生かした昔ながらの生活の実践が紹介されました。ワークショップではネコのモビール(吊飾り)を製作し、慣れないながらも全員が作品を完成させました。

③伝承文化に触れる
工房ストローわら細工体験

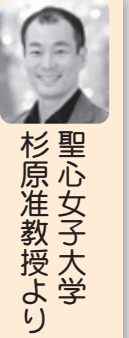


八敷代番楽保存会のみなさんと

学びあう姿勢が培われていると感じた」と感心した様子でした。

今回の聖心女子大学フィールドワークは、ホワイトアスロンに関連して行われていた民間レベルでの交流がきっかけとなり、実現しました。教育委員会では、今後も、多くの大学と連携を推進していきます。

このたびは大変お世話になりました。大学生たちは「東京にはない大切なものが、ここ真室川町にある」ことを大いに感じました。その「大切なもの」を求めて、必ず再訪いたします。皆様とまた一緒にできたら幸いです。



わら細工体験の様子

大学連携推進事業のイメージ

